

2016年度関東支部研究支援プログラム中間報告

字幕を活用した反転学習で、
アクティブラーニングの時間を確保田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)
池山 和子 (首都大学東京)

1. はじめに

本発表は、教科書をウェブ化することで、e ラーニング (eL) として予習を促進し、本授業での活動を充実することを目指した教授法研究であり、外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部研究支援プログラムの中間報告である。

2. 先行研究

2.1 アクティブラーニングの不安の第一は時間が足らないこと

高等学校におけるアクティブラーニング (Active Learning; AL) に関する大規模な実態調査 (木村, 2015) によると、授業を行う先生の不安は「授業の進度が遅くなる」が全体の 70% と最大で、「授業前後の負担増加」68%, 「授業の時数が足りない」59% と続く (図 1)。AL による時間配分の難しさは大学でも同様であろう。

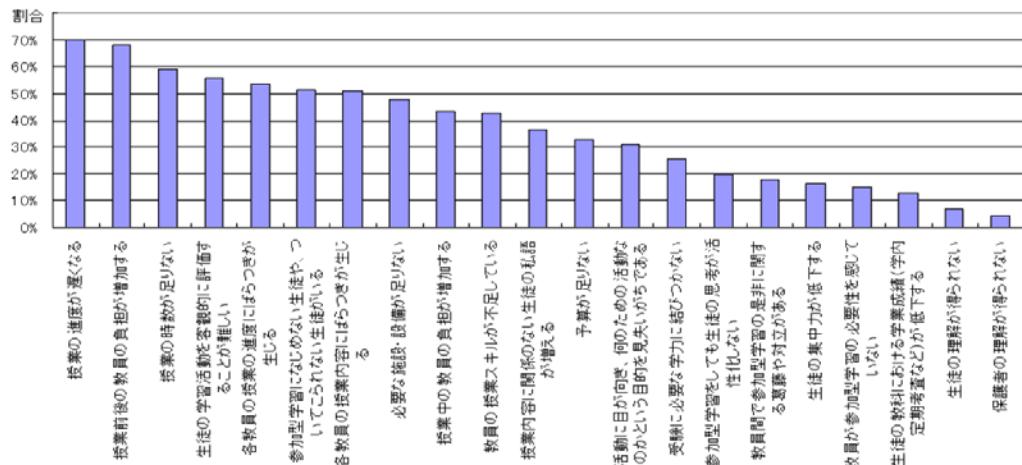


図 1. AL 授業の様々な「不安」について「あてはまる」「ややあてはまる」(5段階評価)と答えた高等学校教科主任の割合 (N=4,777~4,799)

2.2 日本の高校生で予習をするのは1割少々

調査報告書 (国立青少年教育振興機構, 2017) によれば予習復習をよく行う高校生の割合は 1 割程度である。これは日米中韓の中では最低である (図 2)。大学生でも同等と考えられる。1 割程度の予習率であれば、反転授業の土台が揺らぎ AL の質が低下する。故に予習を確実とする工夫が肝要となる。

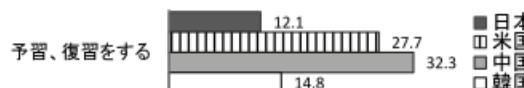


図 2. ふだんの勉強で「よく予習復習をする」と回答した割合 (国別, N=7,854)

3. 目的と方法

クラス授業で AL を実施する時間と質を確保するために、訳読を予習として課す反転学習 (Flipped Learning; FL) を取り入れる手法がある。こうした反転授業 (以下 FLtoAL) で生徒が確実に予習をしてくる方法を研究する。FL にもさまざまな形式がある。ここでは、英語課題テキストを事前に読み込ませることとする。予習方法としては、辞書引きなどによる読み込みが第一であるが、ここでは、学習習慣が身についていない生徒対策も兼ねて、eL による手法を採用する。

4. 字幕と e ラーニングドリルによる動機付け

この eL では、対訳テキストと音映像の閲覧を土台とする。理数系などで行われる解説動画閲覧の類である。違いは言語が母語ではないことだ。それゆえ、字幕による補助が必須となる。近年、教科書の音源が CD から mp3 に切り替わりつつあるが、それらの弱点は字幕がない事にある。学習に不慣れな生徒にとっては大きな障害となり学習意欲を損なわせる恐れもある。その点、日英字幕を具備した eL であれば、字幕の有無など提示法の選択幅が広がり、学習意欲につながることが期待される。また、課題文を視聴あるいは黙読しつつドリルによる刺激も可能となる。学力に応じて手法と負荷を選べるよう、複数のドリル形式の提供は必須である。さらに eL の学習履歴を活かして、ドリルの結果を教師が閲覧して返しを行ったり、クラス内のポジションが視覚化できる仕組みがあるとよい。

今回の授業実践で使用したウェブ・アプリの Talkies (Mint Applications Inc.) では、音声朗読に同期した日英同時字幕提示で基本の訳読理解を促した。そしてドリルでは、選択肢付きクローズテスト、字幕再生中の不定期な聴き取り語順整序問題、確認テスト付き読解速度計測があり、自由選択可能とした。これら予習状況をウェブ履歴でモニターし、クラス授業で返しを行なった。

5. 中間経過と考察

2016 年度後期は音声と対訳字幕をクラウドにアップし、生徒アクセス可能（制限付き）としたが、2017 年度前期は対訳字幕テキストを生徒に配布し、Talkies に読み込ませて eL をおこなった。この方法では音声の音響処理やクラウドへのアップなどが多く、教師の作業負担が多少軽減されることがわかった。反面、音声の提供は生音声ではなく、Talkies の音声読み上げ機能を使うこととなった。

まとめると、FLtoAL で予習を確実にする要点は、eL による (1) 字幕活用、(2) 適宜なクイズ、(3) 適切な分量・所要時間、(4) 学習履歴の視覚化。そしてクラス授業での返しである。こうした FLtoAL の取り組みも、合わせて紹介する。

参考文献

- 独立行政法人国立青少年教育振興機構. (2017). 『高校生の勉強と生活に関する意識調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較-』
 Retrieved from http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/114/1/1
- 木村充, 山辺恵理子, 中原淳. (2015). 『東京大学-日本教育研究イノベーションセンター共同調査研究 高等学校におけるアクティブラーニングの視点に立った参加型授業に関する実態調査: 第一次報告書』
 Retrieved from <http://manabilab.jp/wp/wp-content/uploads/2015/12/1streport.pdf>
- Mint Applications Inc. (2015). Talkies. <http://www.mintap.com/talkies/>